



■テサルカ社（スペイン）

санитарий用ラインを稼働開始

スペインのспанメルトメーカー、テクスノヴォ・テサルカ社は05年第3、4四半期に、 санитарий用素材の生産に向けて第6ラインの稼働を開始する。

新ラインは3.2m幅ライコフィル4ラインで、複数のビームを搭載し、ポリプロピレン製素材を加工する。新ラインの生産費、生産能力などは不明だが、顧客から設備の増設を求められていた。

新ラインの増設により、少なくとも20名が増員される見込みで、第1四半期に3名の製品開発エンジニアを雇用する。また、すでに採用が決まっているアルベルト・カンボス氏はドイツのフロイデンベルク・ハウスホールド・プロダクツ社で副社長を務めていた。同社のспанメルト、спанボンド生産能力は年産4万t以上。

■キンバリー・クラーク社（米国）

衛材で売上3～5%増を目指す

キンバリー・クラーク社（K-C社）は、世界規模でヘルス・ санитарий事業に注力し、長期的に売上伸び率3～5%増、1ケタ代後半の収益伸び率の達成を目指す。K-C社は、価格の横這い、原材料コストの高騰という悪条件の中で、この目標値の達成を目指す。

パーソナルケアは、K-C社の基幹事

業で、05年は売上伸び率3～5%を達成し、高収益を上げる見込み。パーソナルケアの主力製品はベビー用紙おむつ、女性用 санитарий用品で合せて収益の約80%を占め、今後5年間で年間2.6～2.8%の収益の伸びが見込まれている。

なお、K-C社は、ベビー用紙おむつでは、プロクター&ギャンブル社に次ぐ世界第2位、女性用 санитарий製品では第3位のグローバル企業。また、パーソナルケアはもっとも早い伸びを示しており、年間伸び率は、チャイルドケアが6.7%増、ワイパー・トイレ製品が5.4%増、大人用紙おむつが8.5%増。

■ジョンズ・マンヴィル社（欧州）

独工場にспанボンドライン増設

ジョンズ・マンヴィル社は、3,000万ユーロを投じ、ドイツ工場に自社開発のポリエステル製спанボンド第7ラインを増設する。新ラインは3m幅で、06年第2四半期に商業生産を開始する計画。東欧、旧ソ連諸国のアスファルト防水ルーフィング市場向けにデュラスパンシリーズ製品を提供していく。

新ラインの生産能力は年間1万tを超え、これによりドイツ工場の生産能力は2万6,000～3万tとなる。この増設で、従業員170名の同工場は、17名を増員する予定である。

同社は、この増設により東欧市場の急成長に対応したい考え。東欧のルーフィングはフェルト素材が60%を占める。建物所有者は寿命の来た屋根を定期的に取り替えるため、同社は東欧で今後8～10年間、年15%の伸びを見込む。また、最新ルーフィング素材市場も10年間で2桁成長を示しているという。

一方、西欧のルーフィング素材市場は、すでにフェルト素材から、ガラスマット基布にспанボンドのアスファルト防水を施した新素材へと移行しているため、不織布ルーフィング素材の伸び率は年間1～25%に留まっている。

■リバティ・ファイバース社（米国）

米ルイス社がリバティ社を買収

米国のルイス・ホリングスワース社は、米国で唯一のレーヨンステープルファイバー・サプライヤーであるリバティ・ファイバース社を、スイスの所有企業から買収し、負債の引受を行うと発表した。

リバティ社は、スイスのファベスト社が株式の60%を保有、残りを同社の代表取締役社長クレイグ・バーカー氏、最高財務責任者ピーター・グラント氏が保有していた。

バーカーCEOは引き続きリバティ社の一部を保有し、役員としてリバティ社に留まり、グラント氏はリバティ社の最高業務執行責任者となる。リバティ社は、主要原材料である溶解パルプをカナダと沿岸州の企業から購入しており、稼働率約80%で操業を行っている。4、5カ月以内にフル稼働させたい考え。同社は現在、生産量の増強、耐火性繊維の開発、テネシー工場のエネルギー削減を計画している。

リバティ社は、03年11月に破産保護申請を行い、その時点での負債額は2,000万～2,300万ドルであった。04年6月にファベスト社、バーカー、グラント両氏が1,900万ドルでリバティ社を購入した。

■ナイスパック・プロダクツ社（米国）

ハイジーニテック社を買収

世界最大のウェットワイパーメーカー、ナイスパック・プロダクツ社は、短期間に生産能力の増強が必要のため、契約メーカーであるハイジーニテック社を買収した。

この買収により、ナイスパック社はペーパー・コンバーティング・マシン社製の4ライン、約1億5,000万個/年の生産能力、プラスチック製コンテナ生産能力、工業団地に4.5エーカーの工場敷地、6万3,000平方フィートの建物、従

業員約 100 名を手中に収める。

ハイジーンテック社は 2 年前に商業生産を開始した会社で、ナイスパック社のほか、キンバリー・クラーク社などのメーカー向け製品を生産していた。ハイジーンテック社の 03 年の売上は 1,500 万ドル、3 年目には 5,000 万ドルに成長すると見られていた。

ナイスパック社は、自社をプレモイスター・ワイパー部門の世界最大手と位置づけている。ニューヨークを拠点とし、従業員は 1,400 ～ 1,500 名、生産拠点は米国、英国、ドイツ。

■ ユナイテッド・ソルベンツ社 (米国)

ソルベントメーカーが事業を拡大

新会社ソルベントメーカー、ユナイテッド・ソルベンツ社は、米国ソルベント市場に新規参入し、事業拡大を図っている。

同社は 04 年 1 月、スピルテック・インダストリーズ社の前幹部 2 人が発起人となり、ソルベント業界関係者、後援者、顧客と共同で、ワシントン州に設立、現在、中古の 60 インチ幅アキュレート・プロダクツ社製メルトブローンラインを稼働させている。今後 3 ヶ月で、イリノイ州に第 2 工場を開設し、さらに 2 年以内にニューイングランドにも生産拠点を新設する計画である。

ユナイテッド・ソルベンツ社のシムズ社長は、カナダのソルベントメーカー、スピルテック社の前社長で、同社をニュー・ピッグ社に売却した。コイヴラ氏はスピルテック社操業部門の前責任者で、新会社でも同じ地位に就いた新会社は 3 つのチャンスをとらえて設立された。

シムズ氏とコイヴラ氏が、ニュー・ピッグ社との 5 ヶ年非競争契約の終了により、契約の拘束から自由になったことが第一。ポリマー・グループがアーカンソー州のメルトブローンラインの低価格での売却を計画していたことが

TECHTEXTIL 産業用繊維・不織布専門見本市 6 月 7 ～ 9 日、独フランクフルトで開催

産業用繊維・不織布専門見本市である「TECHTEXTIL」が 6 月 7 ～ 9 日、独フランクフルトで開催される。

同分野の製品を「農林・水産」「建築」「産業用被服」「土木」「内装」「工業」「衛生・医療」「交通・運輸」「環境」「包装」「防護」「スポーツ・レジャー」の 12 のカテゴリーに分け、それぞれの最先端

テクノロジーや製品、サービスを紹介する。

<http://techtextil.messefrankfurt.com/>



第二。最後は、スピルテック社の前オーナー、ロガン氏が、西部、中西部でソルベント事業を製品展開できるメーカーを求めていること。

■ ブリティッシュ・ヴィタ社 (英国)

投資会社による買収を拒絶

米国の投資会社、テキサス・パシフィック・グループは、現金 12 億ドルでの企業買収に向けて、ブリティッシュ・ヴィタ社に対し、申し入れを 2 回行ったが、ヴィタ社が 2 回とも拒絶したことが明らかになった。

ヴィタ社取締役会は、財務顧問であるドイツ銀行と、テキサス・パシフィック・グループから提出された修正案を検討したが、ヴィタ社の価値を過小評価しているとの結論に達した。これは、今回の提案が、ヴィタ社事業の基本的価値と今後の見通しを反映していないとヴィタ社取締役会が判断したため。

ヴィタ社取締役会は、同社が強力な業務実績、キャッシュ・ジェネレーション、投資家・株主への利益還元などで一貫した実績を上げており、株主に買収を推奨するには、修正案にこうした強みを全面的に反映させる必要があるとしている。

英国ヴィタ社は、欧州の大手ポリエステル製ハイロフト不織布メーカーだが、事業収益は 10% に留まっている。同社は主に欧州市場向けにフォームとシートポリエステル製品を生産しており、03 年の売上は 9 億 4,100 万ポンドで

あった。同社は、欧州でリベルテックス社、テキシデル社、ヴィタ・ファイバーズ社、米国でヴィタ・ノンウーズンズ社など、欧米各地で不織布事業を展開している。

■ スパンテック・インダストリーズ社 (米国)

ノースカロライナ州に工場建設

イスラエルのスパンテック・インダストリーズ社は、2 年前に米国スパンレース工場建設計画を発表していたが、この度ノースカロライナ州に工場を建設することが決定した。同社は 22 万平方フィートの旧銅管工場を買収し、年間生産能力 1 万 5,000t のラインを新設する計画である。新ラインの詳細は不明だが、建設費は 2,700 万ドルである。

工場建屋を新設せず、既存建物を購入することで、少なくとも 6 ヶ月期間を短縮することができる。建物は第 2 ライン設置に必要な広さが十分あり、同工場が工場、倉庫、米国営業所となるため、コネチカット州の販売会社は閉鎖される見込みである。

ノースカロライナ州によれば、スパンテック社は秋には商業生産を開始するとみられ、今後 3 年で 60 名が新規採用される。同社はノースカロライナ州から 25 万ドルの助成金を受け、政府からは 50 万ドルの援助を受ける見込み。

米国スパンテック社は、イスラエルの親会社 NR スパンテック・インダストリーズ社の 100% 子会社で、全米 2 ヶ所で 3 ラインを操業している。